

清学院で学んだ河口慧海が歩いた道をたどって



清学院開館15周年記念

ヒマラヤを歩く

慧海が歩いた道

美容師

稲葉香写真展

@

堺市立町家歴史館
山口家住宅

2026 4.22 水 ▶ 6.1 月

※毎週火曜日休館日。但し、5月5日は祝日のため開館、5月7日振替休館日。

主催：堺市立町家歴史館指定管理者 株式会社パソナジョイナス

ホームページ：<https://www.sakai-machiyamuseums.com/>

TEL/FAX:072-224-1155



大阪の美容師が追い求める 慧海の歩いた風景とは…

美容師・ドルポ探求家・写真家の稲葉香さんは、日本人で初めてヒマラヤを越えてチベットに^ほ入国した河口慧海とその足跡に惚れ込み、2007年西北ネパール登山隊の遠征参加をきっかけに西ネパールに通うようになりました。稲葉さんがこれまで撮りためてきた写真を通じて、河口慧海がたどった風景を追体験してみましょう。

※ドルポとは西ネパールのダウラギリ山群北西に位置する、域内の9割が標高3,500m以上という高地の地名。国境をはさんでチベットと接するチベット文化圏です。



稲葉 香 Profile

1973年、大阪府東大阪市生まれ。美容師の傍ら、1997年から旅に出るライフスタイルを続ける。ベトナムから始まり東南アジア・インド・ネパール・チベット・アラスカを放浪し、旅の延長で山と出会う。19歳でリウマチを発病したが、ヒマラヤトレッキングにより人間の根源的な力に目覚め、山を登るまでに復活した。再発と復活の繰り返しの中、河口慧海師の足跡ルートに惚れ込み歩み続け、2007年西北ネパール登山隊（隊長：故・大西保氏）の遠征への参加をきっかけに西ネパールに通いはじめる。現在は千早赤阪村で自らが経営する山小屋美容室「Dolpo-hair」を拠点に、活動は多岐にわたる。



慧海が滞在した村・ツァーラン



慧海が滞在した村・ツアルカ

関連イベント

稲葉 香さん特別講演会「河口慧海^{たど}の足跡を辿って」

日時 5月4日(月・祝) 13:30～(1時間程度)

場所 堺市立町家歴史館 山口家住宅(所在地/堺市堺区錦之町東1丁2-31)

費用 無料 ※入館料は必要です。

申込 先着順 30名

山口家住宅へお電話にてお申込み TEL.072-224-1155

お問合せ先 堺市立町家歴史館指定管理者 株式会社パソナジョイナス
TEL・FAX/072-224-1155
メール/info@sakai-machiyamuseums.com

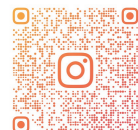
最新情報はこちら



稲葉香写真展
町家歴史館
ホームページ



町家歴史館
ホームページ



町家歴史館
Instagram

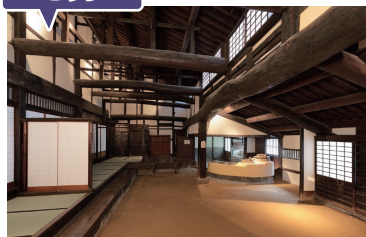


慧海ゆかりの
資料を展示

町家歴史館 清学院

元禄2年(1689)『堺大絵図』に「山伏清学院」の名で見える修験道の道場。江戸後期から「清光堂」という寺子屋としても使われており、日本人で初めてヒマラヤを越えてチベットに入った河口慧海もここで学びました。

写真展会場は
こちら



町家歴史館 山口家住宅

慶長20年(1615)の大坂の陣の戦火により市街地が全焼した直後に建築されました。国内でも数少ない江戸時代初期の町家のひとつとして、国の重要文化財に指定されています。

堺市立町家歴史館



鉄炮鍛冶屋敷(町家歴史館 井上関右衛門家住宅)

全国で唯一残る江戸時代の鉄炮鍛冶の作業場兼住居。鉄炮鍛冶・井上関右衛門家に伝わる2万点を超える実物資料のうち一部を展示、体験コンテンツなどを通じて堺で続く鉄加工の歴史を体感できます。

